



株式会社NEW ART

2018年3月期第1四半期

決算説明資料



証券コード:7638

2017年8月14日

# Contents

---

1. 2018年3月期 第1四半期 決算概要
2. 2018年3月期 連結業績予想及びその進捗
3. 2018年3月期 第1四半期 トピックス
4. 株主還元 自己株式取得の実施

# 1. 2018年3月期 第1四半期 決算概要

---

# (1)決算ハイライト

---

1

2018年3月期第1四半期 連結業績

売上高 3,621百万円  
営業利益 252百万円

2

報告セグメントの変更

ジュエリー事業、エステ事業、アート事業、その他事業

3

上期連結業績予想に対し、  
売上高は51%、営業利益は42%の進捗

4

株主還元 自己株式取得の実施

## (2)報告セグメントの変更①

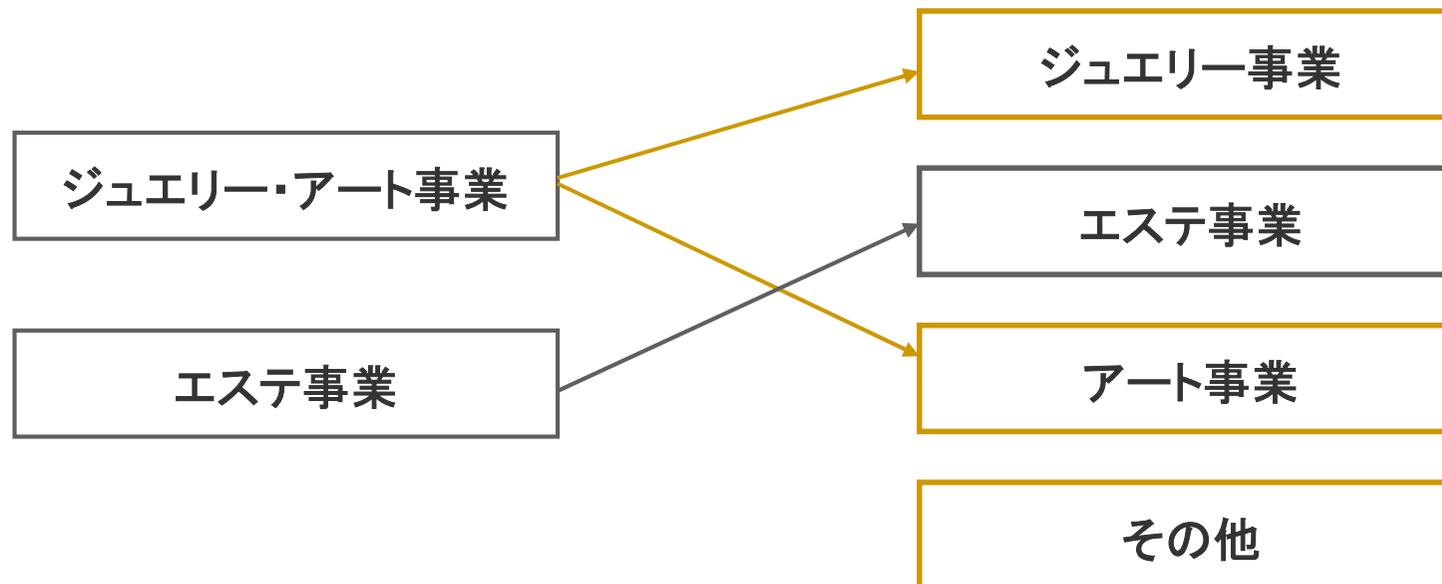
### 2018年3月期第1四半期より報告セグメントを変更

#### (変更理由)

2017年10月1日に持株会社体制に移行予定であり、グループ会社の管理体制を見直し、経営管理方針を変更。また、非連結子会社の重要性が増したことによる連結子会社化を行った。これにより2つのセグメントを4つのセグメントに変更

#### (報告セグメントの変更)

(2018年3月期第1四半期以降)



## (2)報告セグメントの変更②

### (新報告セグメントの概要)

ジュエリー事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ブライダル関連商品の製造および「銀座ダイヤモンドシライシ」「エクセルコダイヤモンド」による販売</li><li>・ダイヤモンド・ルース(裸石)の仕入・卸</li></ul>	(株)NEW ART ※10/1より、HD化に伴い(株)ニューアート・シーマに移管 Israel Shiraishi, Ltd. HONG KONG NEW ART LIMITED 台湾新美股份有限公司
エステ事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・エステティックサロンの運営、化粧品等の販売</li></ul>	(株)ニューアート・ラ・パルレ
アート事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・美術品の仕入・販売等</li></ul>	(株)NEW ART (株)ニューアート・フィンテック
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・ゴルフシャフトの開発・製造・販売及びゴルフ用品の製造・販売</li><li>・ウエディングの企画・立案・運営</li></ul>	(株)NEW ART (株)ニューアート・クレージー (株)ニューアート・ウエディング

### (3)2018年3月期 第1四半期 決算概要(連結)

---

**売上高** 3,621百万円 (前年同期比  $\Delta$ 81百万円  $\Delta$ 2.2%)

**営業利益** 252百万円 (前年同期比  $\Delta$ 133百万円  $\Delta$ 34.6%)

#### 売上高

ジュエリー事業が好調に推移したものの、アート事業の絵画取引が同事業における新規事業の立ち上げ準備のために抑制されたことにより、前年同期比81百万円減、2.2%減

#### 営業利益

アート事業において絵画取引が抑制されたこと、ジュエリー事業の海外展開において売上に先行して投資費用が発生したこと、その他事業において新たに連結対象となった子会社が事業再生・育成フェーズであることなどにより、前年同期比133百万円減、34.6%減

## (4)2018年3月期 第1四半期 業績(連結)

[単位:百万円]

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	3,702	3,621	△81	△2.2%
売上原価	1,843	1,487	△355	△19.3%
売上総利益	1,859	2,133	+273	14.7%
販売管理費	1,473	1,880	+407	27.7%
広告宣伝費	330	465	+134	40.7%
給与手当	362	422	+60	16.6%
営業利益	386	252	△133	△34.6%
経常利益	387	236	△151	△39.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	297	95	△202	△67.9%
営業利益率	10.4%	7.0%	△3.4pt	—

## (5)セグメント別業績①

---

### ジュエリー事業

- 国内は引き続き好調
- 海外は2017年6月に最大規模の店舗を台湾・台北市にオープン
  - ・集客強化に努めたことで来店客数が増加
  - ・営業組織力の強化により成約率が向上
  - ・海外展開における投資費用が売上に先行して発生

### エステ事業

- 中長期的な売上拡大、利益率の改善を図るため構造改革を推進中

### アート事業

- 新規事業の立ち上げ準備により、絵画取引を抑制

### その他事業

- 事業再生・育成フェーズ、事業改革により早期収益化を目指す

## (5)セグメント別業績②

〔単位：百万円〕

		2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減	増減率
ジュエリー 事業	売上高	2,016	2,305	+289	14.3%
	セグメント利益	302	279	△23	△7.7%
エステ 事業	売上高	848	819	△29	△3.5%
	セグメント利益	36	12	△23	△66.0%
アート 事業	売上高	838	387	△449	△53.7%
	セグメント利益	56	11	△45	△80.4%
その他 事業	売上高	—	108	—	—
	セグメント利益 (損失は△)	—	△32	—	—

※2017年3月期第1四半期のジュエリー事業、アート事業は、ジュエリー・アート事業における該当数値を記載

## (6)貸借対照表(連結)の概要

[単位:百万円]

	2017年3月期	2018年3月期 第1四半期	増減	変動要因
流動資産	9,313	9,574	+260	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆流動資産               <ul style="list-style-type: none"> <li>・現預金△779</li> <li>・受取手形及び売掛金+461</li> <li>・商品及び製品+514</li> </ul>               ⇒主にアート事業の在庫増加             </li> <li>◆固定資産               <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係会社長期貸金△502</li> </ul> </li> <li>◆流動負債               <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期借入金+249</li> </ul> </li> <li>◆固定負債               <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期借入金△16</li> </ul> </li> <li>◆純資産               <ul style="list-style-type: none"> <li>・利益剰余金△260</li> <li>・自己株式+179</li> </ul> </li> </ul>
固定資産	3,991	3,652	△338	
資産合計	13,304	13,226	△78	
流動負債	5,378	5,634	△256	
固定負債	945	928	△17	
負債合計	6,323	6,563	+239	
純資産	6,981	6,663	△317	
負債及び純資産合計	13,304	13,226	△78	

## 2. 2018年3月期 連結業績予想及びその進捗

---

## (1) 連結業績予想およびその進捗

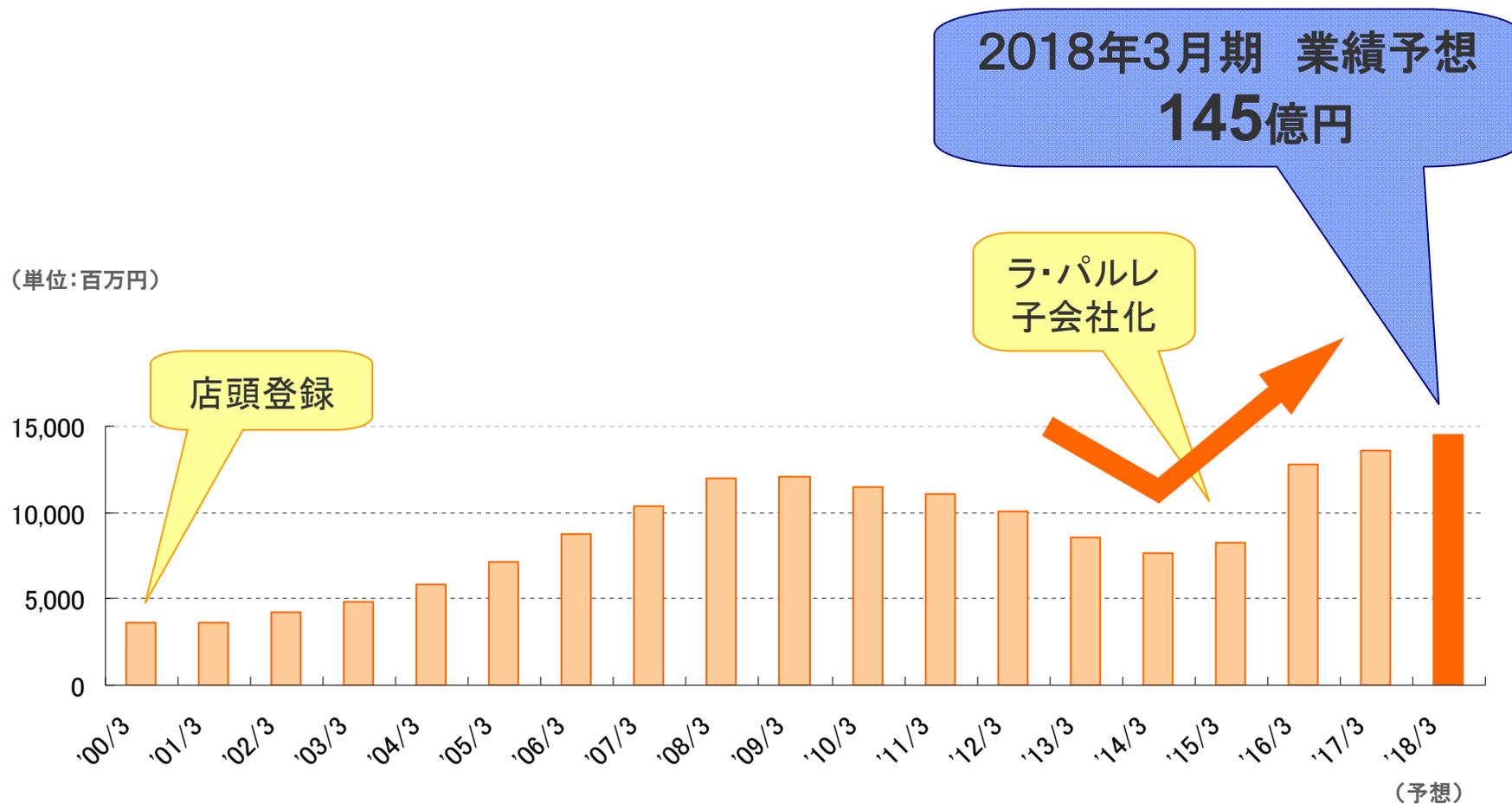
連結業績予想 第2四半期累計に対し  
売上高は**51%**、営業利益**42%**の進捗

[単位:百万円]

	2018年3月期		
	第1四半期	第2四半期累計 連結業績(予想)	進捗率
売上高	3,621	7,100	51.0%
営業利益	252	600	42.1%
経常利益	236	600	39.4%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	95	350	27.3%

## (2)売上高(連結)の推移

2018年3月期連結売上高は3期連続過去最高更新へ



## 3. 2018年3月期 第1四半期 トピックス

---

# (1)海外展開

2017年6月に台湾・台北市にnew art TAIPEIを新設

## new art TAIPEI

台湾初となるNEW ARTグループ  
すべての事業(ジュエリー・エステ・ゴルフ  
等)を展開する全13フロア、総面積1,200㎡  
を超えるNEW ARTグループ最大の複合ビル

第一弾として、2017年6月に「銀座ダイヤモンドシ  
ライシ」「エクセルコ ダイヤモンド」をオープン

“台湾の女性を美しく”をコンセプトに掲げ、  
日本ならではの高品質な製品とサービス  
を提供



▲new art TAIPEI店内



## (2)国内展開

2017年5月に、エクセルコ ダイヤモンド熊本店を新設し、銀座ダイヤモンドシライシとの2ブランドの統合店舗をリニューアルオープン

### <新店舗情報>

■2017年9月7日

「銀座ダイヤモンドシライシ新潟本店」

「エクセルコ ダイヤモンド新潟店」

統合店舗を新潟市万代シティエリアにオープン

■2017年9月15日

「銀座ダイヤモンドシライシ長崎ハマクロス411店」

「エクセルコ ダイヤモンド長崎ハマクロス411店」

統合店舗を長崎市浜町アーケードにオープン



▶ 熊本統合店舗

## 4. 株主還元

---

# (1)自己株式取得の実施

## 2017年5月～7月 自己株式を取得

### ＜株主還元 基本方針＞

- 将来の事業規模拡大に不可欠な成長投資を優先し、株主利益及び企業価値の最大化に努める
- 企業価値向上による株価上昇と剰余金の配当等によって総合的に実現していく
- 自己株式の取得等も適宜検討しながら、中長期的に総還元性向30%を目指していく

〔取得金額合計〕 199百万円

〔取得株数合計〕 6,470,600株

〔取得期間〕

2017年5月29日～6月23日

2017年6月26日～7月21日

〔取締役会決議〕

2017年5月26日

2017年6月23日

# Appendices

---

# 2018年3月期の取り組み

# 1. 持株会社体制への移行①

---

## ＜持株会社体制への移行目的＞

更なる事業の成長・企業価値の最大化のため、責任体制の明確化、事業間シナジー効果の最大化、機動的な組織再編、戦略的な事業提携、コーポレートガバナンスの強化等、グループ各社が事業環境の変化に柔軟に対応できる体制の構築を目指すため

## ＜移行スケジュール＞

2017年3月31日 持株会社体制移行準備開始承認取締役会

2017年4月28日 分割準備会社設立承認取締役会

2017年5月29日 吸収分割契約承認取締役会

2017年5月29日 吸収分割契約締結

2017年6月29日 吸収分割契約承認定時株主総会

2017年10月1日(予定) 吸収分割の効力発生日(持株会社体制へ移行)

# 1. 持株会社体制への移行②



## 2. 国内展開

### <ジュエリー事業>

- 国内2~3店舗を新設する
- 2ブランドの店舗統合を促進する

### <エステ事業>

- 構造改革を実施し、人材の定着・育成などを通じて収益構造の改善を図る

### <新規事業>

- 早期立ち上げと収益化を実現する



### 3. 海外展開

中国・上海、台湾・台北における複合店舗の早期収益化を目指す



〔台北〕 2017年6月以降順次オープン

台湾



銀座ダイヤモンドシライシ  
〔ブライダルジュエリー〕

La  
PARLER  
—ラ・パルレ—

ラ・パルレ  
〔エステティックサロン〕



エクセルコ ダイヤモンド  
〔世界最高級ダイヤモンド〕

CRAZY

クレイジー  
〔高級ゴルフシャフトメーカー〕

〔上海〕 2017年3月 オープン

中国



銀座ダイヤモンドシライシ  
〔ブライダルジュエリー〕

〔香港〕

La  
PARLER  
—ラ・パルレ—

ラ・パルレ  
〔エステティックサロン〕

La  
PARLER  
—ラ・パルレ—

ラ・パルレ  
〔エステティックサロン〕

新中期経営計画  
『Success Road 2020』

# 1. 数値目標

2020年3月期 売上高155億円、営業利益22億円を目指す

<連結数値目標>

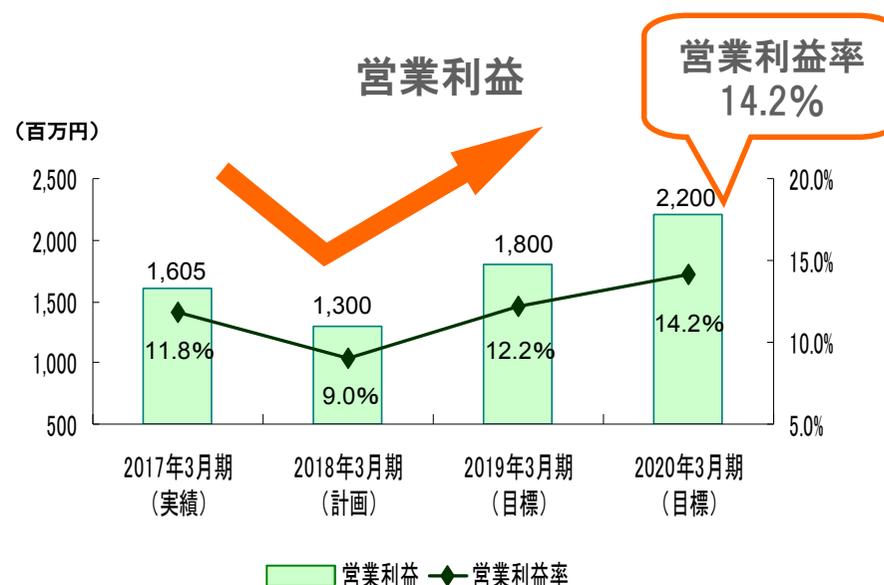
[単位:百万円]

	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (予想)	2019年3月期 (目標)	2020年3月期 (目標)
売上高	13,556	14,500	14,800	15,500
営業利益	1,605	1,300	1,800	2,200
経常利益	1,579	1,300	1,800	2,200
当期純利益	1,094	800	1,200	1,500

## 2. 概要

営業利益は2018年3月期をボトムにV字成長20億円突破を目指す

- 国内既存事業の更なる拡大
- 海外展開の推進
- 新規事業の育成
- 利益を生み出す筋肉質な組織構築を図る





IR情報に関するお問い合わせ  
株式会社 NEW ART IR戦略部  
Tel. 03-3567-8098 Fax. 03-3567-8092

(注)本資料における業績予想や将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報にもとづき合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されております。したがって、実際の業績は、見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。